

文化的・社会的貢献活動(その1)

■ 中学生の職場体験学習

当組合は中学生を対象にした職場体験学習に協力しています。令和4年度は6月に竹原支店・荘野支店の2店舗で実施し、合計3名を受け入れました。竹原支店では6日(月)より5日間、竹原市立竹原中学校の生徒2人を受け入れ、お札の数え方、入金等の端末オペレーションなどの業務を体験していただきました。また、荘野支店では7日(火)より4日間、竹原市立賀茂川中学校の生徒1名を受け入れ、後方事務や窓口対応などの業務を体験していただきました。これからの中学生のキャリア形成の視野を広げ、将来の進路選択に役立つ機会を提供していきます。



■ インターンシップの受け入れ

産学連携の取り組みとして、高校生や大学生を対象にインターンシップの受け入れを実施しています。令和4年度は8月3日(水)から3日間、3大学から計12名の大学生が参加する研修を実施しました。また、同じく8月3日から3日間、竹原支店で広島県立竹原高等学校の生徒2名を受け入れ、インターンシップを実施しました。さらに、令和5年2月7日(火)からの3日間、広島修道大学の学生を対象にしたインターンシップを開催し17名の学生が参加しました。

高校生のインターンシップでは、お札の数え方や窓口対応など金融機関の日常業務を体験していただきました。また、大学生のインターンシップでは、本部で端末機を使った実務体験やビジネスマナー実習のほか、営業店での実習を行いました。参加した学生からは「複数の支店へ見学に行くことができ、実際にシシンヨーで働くイメージがついた」と好評でした。



文化的・社会的貢献活動(その2)

■ しんくみいきき献血運動

9月3日の「しんくみの日」にあわせた社会貢献活動として、献血運動を毎年実施しています。21回目となる令和4年度は9月2日(金)、シシヨービル13階大会議室を会場に実施しました。近隣にお勤めの方にも声掛けしたほか、本店ビル1階の受付カウンターにも催し案内を掲示しました。今回もコロナ禍の影響を受け、待合用の椅子の間隔を広げ、採血ごとのベッド消毒など感染拡大防止におけるさまざまな対策を行いました。当日は、近隣の営業店からも職員が参加し、来場者50名のうち40名の方に献血をしていただきました。この21年間の実績は延べ参加者1,266名、献血者928名となりました。今後も社会、地域に貢献していきます。



■ しんくみの日週間の寄付金

9月3日を「しんくみの日」と定め、信用組合では各種の社会貢献活動を実施しています。その一環として令和4年8月24日(水)、社会福祉法人三矢会(さんしかい)太田川学園(広島市安佐南区)、社会福祉法人似島学園(広島市南区)に寄付金を贈呈しました。三矢会太田川学園は昭和43年に創立し、県内では有数の規模で運営されています。同学園ではアート活動が盛んで、「ハナサクモリ」というギャラリーを開設し、作品を展示しています。似島学園は広島湾に浮かぶ似島にて、昭和21年より児童福祉事業を営まれ、山麓に広がる300アールの広い敷地で子どもたちがのびのびと生活を送っています。これらの寄付が福祉活動の一助となることを願い、これからも地域社会に貢献していきます。

■ 社会福祉法人三矢会



■ 社会福祉法人似島学園



■ 小学生の生活科学習に協力

令和4年10月18日(火)、広島市立五月が丘小学校で実施された生活科学習「町たんけん」に、五月が丘支店も協力しました。この学習は、見学やインタビューなどの活動を通し、自分たちの町の良さに気づき、地域の人や場所への愛着を深めるという活動です。当日は、2年生の子どもたち5名と引率の保護者3名が支店を訪れ、金融機関の仕事を見学。子どもたちはATMの機械の中をのぞいて驚いた様子を見せたほか、札束を数える体験ではとても楽しそうだったので、人事部が用意した練習札をお土産に渡すサプライズを行いました。また、「ATMにお金はどのくらい入りますか」という素朴な疑問を持つ生徒もいるなど、金融機関の仕事に興味を抱いているようでした。職員にとっても、五月が丘支店が地域に密着することを実感する一日となりました。

子どもたちから届いたお礼のお手紙



■ 広陵高校の応援懸垂幕の掲示

第95回選抜高校野球で甲子園出場を決めた広陵高等学校(広島市安佐南区)を応援するため、安支店ではお祝いの懸垂幕を、発表があった令和5年1月27日(金)より掲げ、地元の皆さんと一緒に盛り上がりました。本大会では、初戦から順当に勝ち上がり、ベスト4に進出。準決勝の山梨学院戦では1-6と惜しくも敗退しましたが、懸命に戦ってくれた球児たちに感動しました。今後も地域を積極的に応援し続けます。



■ 給付型奨学金「シシンヨーはばたき奨学金」

平成29年に創設し利用いただいている給付型奨学金「シシンヨーはばたき奨学金」。この奨学金は母子家庭・父子家庭を対象とした返還不要の給付型奨学金制度で、月1万円を1年間給付します。令和5年度も5月から給付を開始しており、当組合とお取引のあるお客様の親族からご相談があって申し込まれたり、お兄さんがご利用いただいたことをきっかけに妹さんも申し込まれるなど、ご紹介やご縁が新たな申し込みにつながっています。

これからも奨学金制度を通じて、地域の未来を担う人材育成に貢献していきます。



文化的・社会的貢献活動(その3)

■ グラウンド・ゴルフ大会に向洋支店、東雲支店協力

令和4年6月16日(木)、向洋支店が主催する「第26回グラウンド・ゴルフ大会」を東青崎公園(広島市南区)で開催しました。雨のため一日順延となった開催当日は好天に恵まれ、絶好のプレー日和となり、合計96名が参加しました。マスクを着用し顔の約半分しか見ることができませんでしたが、参加者の皆さまは真剣勝負の中にも笑いや喜び合う姿があり、この大会を心待ちにされていたことが伝わってくる、楽しい一日となりました。また、11月5日(土)には、東雲支店が協賛する「第9回ふれあいグラウンド・ゴルフ交歓大会」が東雲本町2丁目公園(広島市南区)で開催されました。当日は98名の参加者とともに、支店からも職員5名が参加。心地よい秋空のもと、皆さんと一緒にプレーを楽しみました。これらの大会の参加者には、年金受給者などの取引先や取引見込先もおられ、地域貢献はもちろん、フェイス・トゥ・フェイスの関係づくりの一助にもなっています。これからも地域を応援する取り組みを積極的に行っていきます。



■ 店舗の駐車場で地域の催しを応援

営業店の駐車場を地域や関係団体の要請を受けご利用いただいています。廿日市支店では、令和5年1月21日(土)、廿日市市のけん玉商店街で行われた「年末年始スタンプラリー」のガラポン抽せん会場として駐車場を提供。コロナ禍にもかかわらず、多くのお客さまでにぎわいました。新型コロナウイルスの影響により、例年とは違う形での開催となりましたが、地域との関わりを深める1日となりました。これからも職員の参加とともに場所の提供も含め、地域おこしに協力していきます。



■ SDGsへの取り組み

当組合は令和3年9月に宣言を策定し、ホームページに掲載しています。このディスクロージャー誌に掲載している「地域を応援する取り組み」と「文化的・社会的貢献活動」は、その一環として取り組んでいます。本宣言に基づき、相互扶助の精神のもと、役職員全員が一丸となって地域経済の発展・持続的な成長に貢献していきます。



■ 子ども110番の家スタンプラリーに協力

令和4年7月2日(土)、子ども110番の家スタンプラリーが3年ぶりに開催され、出島支店が協力しました。この活動は、「子ども110番の家」を子どもたちに実際に歩いて場所を覚えていただくことを目的としています。当日は9組の親子が支店に来訪。子どもたちは感謝のカードを持参し、職員に贈呈しました。今回はスタンプに替えて台帳にシールを貼ることになり、希望のシールを選んでいただくなどで会話が弾みました。これからも地域に寄り添った取り組みを実践していきます。



■ 「万徳院 春を食えるかい!」に支店協力

令和5年4月30日(日)、北広島町舞綱にある万徳院歴史公園で、春を満喫する「春を食えるかい!」が開催され、千代田支店の職員がお手伝いで参加しました。コロナ禍の影響で4年ぶりに開かれた今回は、晴天に恵まれ、多くのお客さまが久しぶりの町内イベントを楽しんでいました。「春を食えるかい!」は、山菜料理が食べられる“山菜づくしのおもてなし”が魅力で、山菜の天ぷら売り場は大盛況。また、蒸し風呂体験や庭園鑑賞会などが催されたほか、子どもたちによるステージもあり、催しを楽しみながら春の味覚を満喫する方々の笑顔が見られました。今後も、地域の皆さんと協力しながら、地域に貢献していきます。



■ 祭り「えんこうさん」に支店協力

猿猴橋(広島市南区)を中心とする祭り「えんこうさん」が、令和5年4月1日(土)に開催され、駅前支店が参加しました。

お祭りでは、猿猴川のほとりに設置された「ぼんぼり」に社名を掲載して、夜桜見物の演出に協賛したほか、支店職員も参加し、ご縁幸祭事の儀式と神輿のお通りを見守りました。現在進行中の広島駅再開発を含め、「陸の玄関口」である広島駅周辺のにぎわいづくりにこれからも協力していきます。



文化的・社会的貢献活動(その4)

■ 地元の催しに大朝支店協力

令和4年11月20日(日)、大朝支店のある「わさまち通り商店街」で「おおあさ鯖まつり」が開催されました。大朝地域で、日持ちのするしめ鯖が好まれてきた土地柄にちなんだお祭りで、鯖ずしや焼き鯖などの出店があり、支店職員たちも鯖グルメを購入するなどこのお祭りを楽しみました。

また、令和5年4月29日(祝)、北広島町大朝ショッピングセンター「わさ〜る」とその周辺を会場に、「わさまち」と銘打った春祭りが行われました。当日は、あいにくの雨と寒さで期待通りの来場者数とはいかなかったものの、支店職員は清掃のお手伝いなどイベントの運営に協力しました。

5月14日(日)には、北広島町の鳴滝溪谷入口で「新庄はやし田(大花田植)」が行われました。これは、北広島町新庄地区に伝わる民俗芸能で、大朝支店ではふれあい荘の駐車場を開放したほか、建物は行事参加者の着替え場所として利用いただきました。これからも、地域を応援する取り組みを積極的に行っていきます。



おおあさ鯖まつり



わさまち



新庄はやし田(大花田植)

■ RCCラジオ・チャリティ・ミュージックソン募金

目の不自由な方に音の出る信号機を贈るため、ラジオとイベントを通じて募金を呼びかける中国放送の支援キャンペーンに1回目から毎年参加し、広島地区での「通りゃんせ基金」募金活動に協力しています。15回目となる令和4年度も11月から令和5年1月末までの募集期間に合わせて、全店のデジタルサイネージに告知ポスターを掲出しました。また、募金の振込手数料を無料とし、役職員も協力しました。前回は中国放送に過去最高額の約755万円もの募金が集まり、舟入電停南(広島市中区)、

中須一丁目(広島市安佐南区)、呉郵便局前(呉市)、伊勢丘6丁目(福山市)の4交差点の信号機設置に役立てられました。これで、県内39箇所に音の出る信号機が設置されたこととなります。これからも地域社会のために協力していきます。

